

ミヤークツツ今年も盛況



発行者
NPO 法人いけま福
社支援センター
電話：75-2870

9月20日から3日間、ミヤークツツが盛大に開催されました。今年には昭和35年生31名の方がウイディウヤとしてムトウにあげられました。天気が心配でしたが、3日間とも夕方からは奇跡的に晴れ、ミヤークツツのクイチャール踊ることができました。島外からも多くの方が帰省され、島が賑いました。自治会長の波平三郎さんは、「今年も無事に開催できたことを感謝しています。課題もたくさん見えてきたので、来年のミヤークツツにむけてひとつひとつ改善していきたい。」と話しています。



9月は、8日(月)にジュウゴヤちょうちんまつり、13日(土)に池間幼小中の運動会、15日(月)に池間自治会主催の敬老会、20日~22日はミヤークツツ、27日(土)には老人クラブの運動会と、島の行事が目白押しでした。上の写真は、今年古希を迎えられた新敬老者のみなさんです。おめでとうございます。



第3回 池間島大演芸会開催

9月20日、ミヤークツツのアラビにあって、第3回池間島大演芸会が開催されました。主催はいけま島おこしの会です。島おこしの会に参加する各団体（老人クラブ、漁協女性部、池間小中学校など）のほか、今年還暦を迎えた昭和29年生や、ウイディウヤの昭和35年生チームなどによって、15演目が披露されました。池間小中学校による校歌遊戯では、会場の来場者もみんな一斉に踊りに参加。昭和29年生によるマイケル・シヤクソンも会場を大きく沸かせました。ミヤークツツにあわせて開催されたことで、これまでにないほどの来場者数となりました。在平良池間郷友会会長の与那嶺大さんは、「来年は、かつてのように水浜広場に特設舞台を設置して開催したい」と行事の継続と発展への意気込みを語っています。



池間中学生だより

9月30日に海浜漂着「ミ調査」がありました。まだまだたくさん「ミ」がありますが、最初に比べると、みちがえるほどきれいになりました。そのなかで、流木のアート作品？を発見しました！みんなで誰が作ったのか話をしていて・・・「おれのオブジェ！」と中学1年の具志堅ともきくんが。「ス「イー」」「1人で作ったの？」など私もふくめみんなすごくびっくりしていました。いろいろありましたが、とても楽しく掃除ができてよかったです。私は、今年で最後ですが、これからもずっとこの活動が続いていたらうれしいです。
(池間中3年 尾崎滯)

離島体験 民泊

9月17日～19日の日程で、うるま市立与那城小学校の5年生児童113名が池間島を訪れ、島のくらしを体験しました。18

日には、島のベテラン漁師のみなさんの指導のもと、伝統漁法である「石巻き落とし漁」を体験し、自分たちで釣った魚をさばいて調理しました。見事アカディンを釣った女の子もいたそうです。



イーヌブーの再生にむけて

9月11日(木)、池間公民館にて「イーヌブー再生事業」についての説明会が行われました。この事業は、イーヌブーで増え続ける水草を除去して開けた水面を確保することで、水鳥たちがすみやすい環境になると同時に、近年急速に進みつつある陸地化の進行を抑える目的で実施されます。このたび、島おこしの会が総務省の「過疎集落等自立再生対策事業」として1,000万円の補助金を得て、池間湿原の土砂の浚渫、水草の除去を本格的に進めていくことになりました。土砂浚渫のために重機を入れてみると、ユニムイからイーヌブーの奥へ入ったところには大量の産業廃棄物が投棄されていることも明らかになりました。今後、湿原の保全、積極的な活用、不法投棄の問題も含めてイーヌブー全体の再生計画を進めていくためには、島民の継続的なかわりが必要となってきます。ご意見をお寄せください。



大量の産業廃棄物と土砂の浚渫を行った部分（ユニムイから墓地をっていった突き当り）